第81号

開成校新聞

令和５年（２０２３年）
３月２４日（金曜日）

開成校新聞

発　行
開成中等新聞局
発行責任者　山田
＊　＊　＊
東区北22条東21丁目
TEL　788-6987

7年ぶりの規約改正

新しい規約に期待と不安の声

昨年12月22日、各学級で、新たな生徒会規約を提案する議案審議が行われた。これまで委員は各学級の中から定員を満たすように選考されていた。また局の入局にも学年制限があった。そこで、今回は学年や人数の枠を超えて各々が参加したい活動に自主的に参加できるような規約の改正が提案されている。

具体的には、局への入局が1年生からになること、常任委員会を廃止し全校で行う行事はプロジェクト制で行うことの二点が改正点として挙げられる。これによって活動に参加したい人がより自由に参加できるようになったり、局の局員の人数が増え、より活動の幅が広がる事が期待されている。

変更前	変更後
半期毎に委員を募集 ※特別委員会は通年	年度始めにHR代表、選挙管理委員会を募集
外局の入局は３年生から ※１～２年生は同名の常任委員会を募集	毎年必ず実施する活動のプロジェクトメンバーも、年度始めに募集
	その他の業務は、その都度HR代表を通じて募集
	外局は1年生から入局可

▲規約改正が可決された場合の変更点

規約改正が行われるまでの手順としては、①評議委員会から規約改正の提案がされる②各学級で議案審議（ここまでは完了）③生徒から寄せられた質問に回答した後、3月24日の総会にて可決の審議が行われるとなっている。

生徒からは、「所属する学年が増えることで局の仕事の分担が難しくなる」「委員長などの役職が無くなることで履歴書に書けることが少なくなった」などの不安の声も聞かれた一方、「局の人数が増えると他学年交流が増えてうれしい」「参加したい行事に集中して取り組めそう」などの肯定的な意見も多く見られた。

各々が現在の規約について考え、真摯な姿勢で可決の審議に臨むことが求められている。

SELF式クラス替え

2月7日から12日まで4年生はSELF式クラス替えを行った。これはSELFの理念に基づいた充実期の学びの集大成としてクラスを自己選択するものである。

先発組と後発組に分かれて希望するクラスの場所に自身のネームカードを張ることでクラス分けを行った。

ここでは、充実期で培った自他の軸を認め合う力を使うだけではなく、発展期で求められる個で動く力を発揮する足掛かりになっている。

実施期間中はクラス定員の40名を超えないように生徒同士で話し合う姿が何度も見られた。クラス替えを終えた4年生からは来年度からのクラスを心待ちにする声が聞こえる。

▲SELF式クラス編成の名簿

1/365コマ

3月17日に行われたSSH研究発表会に向けたTOK展示の準備からの一枚。愉快な新最上級生がTOKポーズをしてくれた。

アンテナA

4年おきに開催されるWBCだが、とりわけ今大会は盛り上がっている。その大きな理由は今まで所属球団に参加が制限されていたメジャーリーガーの参戦だろう。メジャー屈指のスラッガーであるM・トラウトが参戦表明をした結果、多くのメジャーリーガーが続いて参戦することになった。

わが日本代表にも日本でプレーする選手に加え、ダルビッシュや吉田、初の日系人で選出されたヌートバー、そして大谷翔平ら4名のメジャーリーガーが加わった。世界最強選手を迎えた日本代表は、予選と準々決勝を全勝で通過し、アメリカで開催された準決勝も勝ち進んだ。

決勝戦で特筆すべきは9回表でマウンドに立った大谷翔平だ。最後にトラウトを空振り三振に抑え、見事に日本を優勝に導いた。まるで創作シナリオのような日本の優勝により、本校野球部の人気も急上昇するだろう。

東日本大震災から12年

高校生団体が防災イベントを開催

今年の3月11日をもって、東日本大震災から12年がたった。高校生が所属する防災団体blossomは、被災当日のこの日に開成小学校で防災イベントを開催した。当時東北で被災した方を招いての講演や体験型のブースがあり、東日本大震災を経験していない現在の小学生により防災を身近に感じてもらうための工夫が施されていた。小学生だけでなく大人も積極的に参加し、それぞれが多くのことを学べたようだった。

▲地震のメカニズムを説明している

▲新聞局から▲春の朝は真新しい空気が充満している。家から出ただけで清々しい気持ちになれるなんて、最高じゃないか